

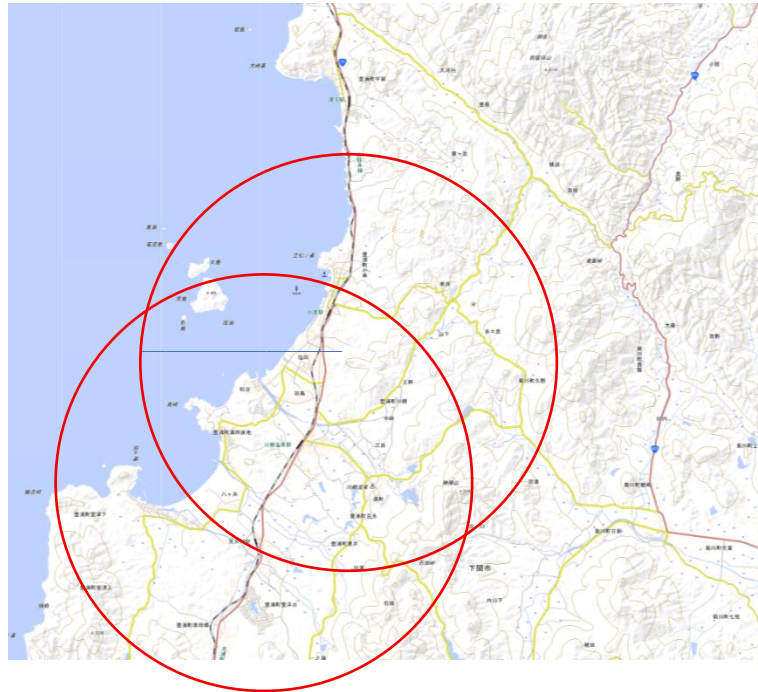
室津での説明会 場所 室津公民館 研修室 出席者 33名程度（含む保護者・小学校校長）

19:00～日程説明

市教委 挨拶

市教委からの計画説明（10分程度）＋三期計画についての説明

※市教委の留意点 6点 印刷物追加 ちなみの地図（西村作成）



三期計画について

三期計画では、室津小と誠意小を統合するとともに、豊洋中で小中一貫校にすることになっていた。市内の他の地域でも同様。三期計画については、令和4年に名陵、令和6年に内日、令和7年に吉見で小中一貫校を始めている。小中一貫には施設一体型と隣接型と分離型がある。この5年の間に人口減少は進んでおり、四期計画策定で重視したのは、小規模になっている学校（複式学級が多くなっている学校）が、今後も少子化が歯止めがかからず、少なくなるので、適正規模化を進めることを重視。豊洋中では、増設が必要になり、時間を要する。少子化は進むので、待って統合を伸ばすより、まず小学校同士の統合をして、適正化を図るべきだと考えた。

質疑応答

- Q. 室津と豊洋中に隣接する、川棚の中学校はどうなっているのか。豊洋にきたい人がいれば、受け入れてもよいのでは。令和12年度の川棚の中学校の数字を教えてほしい。
- A. 小学校の数字で、3校の数字は宇賀が7名、小串が30名、川棚小学校が204名。
- Q. 中学校は100人前後はいるということか。
- A. そう。
- Q. 豊洋との三位一体で統合する計画があったと思う。室津小、豊洋中、誠意小では、誠意小が一番古い。立地条件も、豊洋中なら、近くなる人もある。安全性も、誠意小は国道191号の隣で、交通量が多く、安全面でもどうか。小規模の学校はマンツーマンで、落ちこぼれが少ない。平均的な数字はいいのではないかな。少子化、少子化と言って学校を無くすのはやめた方がよい。新卒教員とOBを併用すればよいのでは。スクールバスは、維持費がいる。運転手やガソリン代。豊洋中だった

ら、それもいらないのではないか。室津地区としては小学校を維持したいが、合併するなら豊洋中が最低ラインではないのか。それがなければ今まで150年以上続いた小学校を廃止することには地区の住民は反対するのではないか。最低でも豊洋小・中なら納得できる。

- A. 豊洋中での施設一体型の一貫校は、三期計画では出しており、よくないと思っているわけではない。豊洋中の校舎は一学年3クラスを想定しており、普通教室だけなら、小学校は一クラスなので、ぎりぎり入るが、特別教科の教室が必要になる。小中で同じ教室では済まないし、近年、学級運営が多様化し、色々な課題を抱える子どもが増え、個別の教育が増しており、普通学級以外の教室のニーズが増えている。現実的に統合することになれば、増設が避けられない。整備に時間を要すると考えているので、まず、速やかに統合するのがよい。

誠意小の校舎は古いが、市の校舎は古い校舎が多く、今長寿命化に取り組んでおり、今計画の中でも、まず既存の校舎を活用することを基本的に考えている。使えない状況になれば新しくすることを考えないといけませんが、時間がかかるので、既存の校舎で、特に小規模の学校は統合するというのが私たちの考え。

通学路の安全は、どちらの学校にも事情があり、それぞれに安全を確保しないといけない。

小規模校の良さを否定するわけではない。先生に対する子どもの数が少なければ、子どもに目が行きやすい、集中しやすいということで、学力向上の効果も出てくると考える。しかし、学校は同世代の子どもたちを集め、子どもたちがいろいろな個性と触れ合い、認め合ったり、協力し合ったり、時には切磋琢磨して、競争してという中で、学力以外の部分の成長を育む場所。それには一定の規模が必要というのが適正規模・適正配置の基本的な考え。小規模になった場合でも、その中でできる授業の仕方・学校運営の仕方を現在先生方の努力でされていると思う。複式学級は非常に難しい授業を進めるといふ先生方の努力があると思う。準備も二倍かかる。難しい授業の進め方をやって、学校運営をしているという課題がある。課題を解決するために適正規模・適正配置の取り組みとして統合を進める。

- Q. 今ある校舎を使うなら、室津小が一番新しい。むしろスクールバスを利用して室津に来た方がよいのでは。複式学級は、授業参観すると、先輩、後輩がいい関係で、同じ数学の図形など、上の学年の考え方とかいろいろあるのを、同じ学級でいろいろやるのもためになる。複式学級が悪いということはないと思う。先生も楽しんでいるのではないか。複式がダメという説明をされても困る。

八が浜などから誠意小に向かっている生徒も多いと思うが、誠意小に行くのは安全ではない。スクールバスは、維持費がかかる。税金で。それよりは、バスが無くても通学できる方を選択した方がメリットがデメリットより多いのではないか。

- Q. (室津小からは誠意小まで) 4kmないからスクールバスはでないのでは。

- A. 複式学級の良さは、まさに今言われた良さもあり、課題もある。どこまで小規模の複式学級の運営が許容できる部分か、というところになってくる。一人でも学校は必要だが、保護者の中でも心配する声はある。令和12年度の推計を見れば複式学級を解消すべきと思う。

スクールバスの距離の基準は小学校は4km、中学校は5kmが遠距離通学の基準で、それ以上の距離があれば、公共交通機関があれば、交通費の支援があり、無い場合はスクールバスを運行するという手段を行う。温暖化で非常に暑い状況で、子どもたちの熱中症も心配しないといけないところであり、国の基準を絶対を守るべきかということ、小学校1年生に4km暑い中歩くのは長いという意識はある。統合を決める前に地元の皆様…。

- Q. (4km未満はスクールバスは) 基本的にはないと答えればいいじゃないか。

A. 現状はない。検討はしないといけないと思っている。それ（4 km）以外の運用はしていない。問題意識は持っている。

Q. 4 kmといったが、（前回の説明会では）質問したときに、教育委員会は返事をしなかった。議会の本会議でK議員が質問したら、市長が4 km未満は出ないといった。なぜ、説明会で説明しなかったのか。希望を持たせた。

A. 過去の説明会では説明が足らなかった。

Q. 足らなかったのではなく、言わなかった。

統合案も10年で3回変わっている。最初は統合だったが、前の教育長が小中一貫を言い出して小中一貫に替わった。その教育長は途中で替わった。任期途中で、理由も言わないで辞めた。5年の間に豊洋中の受け入れ態勢が出来たのに、その間一回も説明もなかった。今日は来た途端に方向が違う。あまりにもひどい。

Q. 令和12年の豊洋中の見込み数が16人。中学校の問題も出てくるのではないかと。それで夢が丘中学校の数を調べた。その頃になったら、夢が丘中学校に通っている親で、豊洋中がいいという人も出て出てくるのではないかと。そうすれば、豊洋中学校の問題は解決するのではないかと。

今回は第三案の誠意小と豊洋中との一貫校ということだが、中学校の先生が小学校に行って教えるというのであれば、価値があると思う。

A. スクールバスについて伝えていなかった。

Q. 誠意がなさすぎる。今回も一方的だ。事前に説明会をするべき。3月にあった会議の議事もHPに上がっていない。住民の意見を聞くといいながら、案をもってきている。議会の議員の質問に、教育長は案を変える気がないと言った。誠意小は運動場が陥没している（※現在は修理済み）。体育館は雨漏りしている。トイレもダメ。室津小はきれいだし、運動場も100mとれる。

A. 分離型は課題はある。中学校の教員が小学校にいった専門的な授業を行うことは可能だが、そこに至るまでに教職員が職員会議をしたり、合同研修会をしたり、学校運営協議会を開いたりして、情報交換を通して様々な行事と一緒にしたり、児童生徒のふれあい、中学校教員が小学校に行き授業をしたりということが可能になるかと思う。今でも中学校の先生の出前授業が小学校で行っているという、（小中連携や小中一貫）。今でも3校で小中一貫教育は進められている。

今回室津小と誠意小が一緒になることで、一小と一中になると、小中一貫教育はより進むと期待できる。一体型と比べると課題は一杯ある。先生の移動、子どもたちの移動がある。6年生が中学校にいった一日そこで過ごすなど。6年生が中学校に行きそこで授業を受けるとか。といった取り組みもできるが、移動もあるので、課題が大きいと思う。

吉見小・中が今年から開校しているが、出来立てで取り組みも進んでいないのが現実。教室を作って6年生が一日過ごせる体制を整えたり、小学校1年生が中学校にいった学校探検をしたり、少しずつ取り組みが進んでいる。今回の計画で小中一貫校の分離型が3つ示されているが、どこ（の説明会）でも一体型がいいのではないかと問われた。吉見小・中の取り組みを市教委がしっかりサポートして、いい実践、いい取り組みを、分離型が出来た時に生かせるようにしていきたい。

Q. 中学で英語を教えていたが、小学校に行き英語を教えるのは専門知識が必要で、とても難しい。芸術教科であれ、そんなに簡単にできることではない。複式学級を教えるのと同じくらい大変。つくば市では全部小中一貫にして、大失敗して、新しくつくる学校は小中一貫を認めていない。

黒井の説明会で聞いたが、小規模校の児童の成績が劣るとか、生活面でのマイナスがあるという基本的なデータがない。文部省が言っているだけで、数字の上でデータがないとのことだった。前

回の小中一貫の説明の際によく言われた「中一ギャップ」も実際にはないということになっている。二日前の説明では、複式学級は良いところがいっぱいあると言われたのに、今日はそれと言わない。教育委員会は、二学期制（※中間テストの廃止と混同）や、教科教育型学校など、先進的なものや文部省がいいということは信じない方がいい。

Q. 小中一貫は、どんな点がマイナスだったのか。

Q. A. 小学生が6年でリーダーシップを発揮できずにたるんでしまう。同じ学校内に小学校低学年がおり、中学生にとっては騒がしいなど。

Q. 生徒数などの関係があるのではないかと。分離より一体型の方が理に適っていると思う。小学校と中学校の共有化が図れる。一体化の方が伸びる可能性はあると思う。

Q. この説明会の議事録はあるのか。

A. ある

Q. 今日の説明会を受けて、室津の意見を出すことを望んでいるのか。ただの説明会か。

A. 説明会で口頭で出た意見、提出された意見、パブリックコメントを集め、意見として判断する。

Q. パブリックコメントで出された意見も23件と少なく、期間も一ヶ月と短いのではないかと。誠意小は築何年か。

A. 一番古い校舎は昭和34年築。（鉄筋コンクリート）新しいのが56年。

Q. 誠意小では環境が悪すぎる。国道が通っており、保護者が来るまで迎えに来ており、10年後はもっと増える。あの敷地で、交通量の所で送り迎えするのは環境があまりによくない。3期の案はHPで載っていたが、良いと思った。誠意（の児童）が室津小に来た方がよい。

Q. 前回の説明では、豊洋中で小中一貫で、しょうがないとおもったが、今回は分離だが、将来ともそういうことか。設備は室津の方がはるかによい。グラウンドに穴が開くような学校で子どもを学ばせるのはどうか。生徒数だけで決めたのか。適正化とか教育水準の維持の基準は大人が決めた基準ではないか。子どもにとっていいことを考えるのが大人の役割ではないか。誰にとってよいのか、通う子どもがよいようになるように勧めてほしい。この先ずっと誠意小に通うのか。

A. 計画の期間の間に達成できなければ見直しをする。今の計画は今時点でこれがベストだという考え方を示している。

Q. もう5年も経っている。作るのに時間がかかるというが、なぜその5年の間に考えなかったのか。すぐ予算がないというが、やるという気持ちがあれば、予算は作れる。安全でもないところに子どもをやる、そんな馬鹿な話はない。

A. 安全が一番大事な所なので、新旧関係なく安全を図っていきたい。大人が考えた案ではないかといわれればその通りだが、子どもたちのことを考えてこれがよいと出した案。

Q. どちらにも通える地域に住み、下の子は室津小学校に通った。（説明会では）毎回、少子化、子ども数の減少というが、その間に地域を守るためにみんなで一緒になって地域を盛り上げようとか、子どもを増やそうと工夫をして、小学校を残すための工夫を考えていたのか。地域にも責任があるというか、説明会の後、保護者がどう思ったか、子どもたちがどう思ったか、地域でどう思っているかという集まりもなかったのではないかと。この話が出る前にもっとみんなで考えなければいけなかったのではないかと。室津小が無くなるかも知れないと娘に話したら、地域がとても温かく、色々なことを教えてくれて、色々なことをともにして、地域が大好きな子どもなので、無くさないで

と。将来的には帰りたいとの思いがある。地域の方に感謝したい。小学校を残してほしい。前回、豊洋中に統合されるかもしれないという話だったので、複式で、一人か二人になった時のことを考えると、仕方ないかと思っていたのに、誠意小になっていて、びっくりした。上の子が誠意小学校に通っていた時は通学が心配でたまらなかった。保護者に説明なしに、(地域で)説明会を開くのはどうかと、疑問に思う。この後、説明会をするのか。

A. 地域を盛り上げる策は、子ども子育てを最重要施策として全部局横断的に行っているが、数字に表れていない。小規模や複式が悪いとは思っていないが、大規模校でできることもあるので、小規模校でも体験してほしいと思っている。賛否両論があると思うが、そういう話があったことは持ち帰りたい。できるだけ早く規模を確保したいという考えから現在の案になっている。

Q. 保護者だが、計画案の期間の途中で合併することもあるのか。

A. 基本計画であり、実施計画ではないので、期間を迎えたら否応なしに統合ということではない。地元との話し合いで合意に至れば、次に進む。今までのパターンで言うと、PTAの方か、自治会の方や、学校運営協議会の方が参画する協議会を設けて議論をし、最終的に地元の意思表示という形を確認した上で、統合に向かおうという、それが無い限り、次に行くことはない。この5年間の間に合意すれば、統合に向かう。合意後に今までの事例では最低でも2年はかかる。そこまでの過程が早ければ5年の間に統合という結果になるかと。地元の方で統合という意向が見えなければ、計画を実施するということはない。

Q. 令和9年で合併するとなった時には、最短で2年、もしかしたら令和11年中に合併が完成する可能性もあるということか。

A. 統合に地元として合意という形になり、最初に何を決めるかという、統合の時期を決める。地元の意向で、何時ごろ新しい学校をスタートするかを決め、それに合わせて準備を進めてきた。今まで最低でも準備に2年かかっているというのが実情。

Q. なぜ誠意小になったのかを詳しく聞きたい。

A. 人数の多い学校を動かすという判断はしづらかった。

Q. 通学の安全や周囲の勧めで室津小にして、良かった。できれば室津小を残してほしい。

Q. 誠意小の校区には一の瀬のような山奥の所もあり、そういうところの児童は室津に来たいとは思わないだろう。自分の所は他所へ行きたくない。仕方なく行く制度しかないのか。

Q. 校区変更はできるのか。今30余名が通っている。昔みたいに校区は決まっていない。

Q. 黒井の説明会では、誠意に来ることをよしとしているのか、室津はどうかという意見は出たのか、誠意しかないという意見だったのか。

A. 黒井公民館では小規模校の良さ、課題とか、小中一貫とか、場所の話よりも根本の意見のやり取りが多かった。誠意小の場所については出ていなかった。

Q. 手元に意見用紙があると思うが、どうやって提出するのか。パブコメ用の紙は、TELやファックスの番号が書いてある。

子どもは皆室津小で、地域の方が様々な体験をさせてくれるのでありがたい。室津小と誠意小が一緒になって豊洋中で一貫校にすれば皆が納得すると思っていた。夢が丘の所に夢が丘小学校ができ

たら、小串の人も宇賀の人もとても喜ぶと思う。考えてほしい。

A. 今日のアンケートはこの場で書いてもらって出すことを想定している。書ききれなかった人は、パブリックコメントを実施しているので、ホームページから意見を出していただくことができる。

Q. 保護者が意見を言われたが、黒井公民会の説明会では、受け入れ側の方はあまり関心がないのか、安心しているのか、保護者がおられなかったのが残念だった。今回の説明会のチラシには保護者や地域住民の皆さんへの説明会とあるので、保護者向けの説明会はないのではないかと。保護者の方に一番関心を持っていただきたいので、土日の昼間に学校で開催して、そこに地元の人に参加する方が保護者がしやすいのではないかと。お母さんがおられるので、複式に通わせている方がどう思っているかを聞きたい。

Q. 保護者とこれから小学校に子どもが通う親と、地域の説明会を分けてくれたらよかったと思う。複式は、現状はいいが、2年生がゼロ。来年も1年生が入って来ないのかというのもある。個人的には合併してもしようがないと思っている。いつなのか、決まったら何年前に教えてもらうのか。

Q. 黒井の説明会の参加者は22名だったという。児童数は178名なのに。前回の説明会の時は保護者は子どもに関係なく、関心が薄かった。説明会の仕方がまずい。なぜ、誠意と室津を分けてするのか。存続する学校と無くなる学校を別々に説明したら、説明にならない。誠意に通っている子どもを室津小に連れて来てみては。100mを走らせてみては。室津小の子どもを誠意小に連れて行って見て、どちらに行きたいか、子どもの意見を聞いて。

A. 説明会を一度にというのは、私たちも悩みながらやっているが、分けたことに関しては、地区の違う方が混じり、デリケートな話なので、意見も言いづらいという場面もあると思う。感情的な部分も出て来るかというのは思っている。分けた方が本音の部分が聞けるのではないかと。

Q. 先行事例として豊北が学校を統合し、地域が非常に衰退している。去年は子どもが一人か二人しか生まれていないという状況。教育委員会は言わないので、学校が一緒になっても大丈夫だろうと思うとしたら、大変。一時間もかけて車で通っているような子どももいる。黒井でそういう意見が出たが、議事録が出ていないので、わからないと思う。

黒井では、「現状は一合目から十合目のどこの段階にあるか」と言ったら、市教委はまだスタートラインに立っていないと答えた。地域や保護者から要望があって初めて動くと言われた。「決められたら」との発言があったが、決めるのは、皆さん。

その場合、話が進む途中で大問題が起きて、統廃合は待とう、と言った時に、途中で止められるものなのか。一度動き出したらそのまま進むのか。

A. まずは統合すべきかを地域で確認をいただき、合意がわかったら次に進む。確認の仕方は様々だろうが、書面を頂くという形が分かりやすい。いつ、名前、校歌、校章、制服などを決めないといけない。通学路の安全なども。話し合いの途中で「こんな話ではなかった」となった時、今まではそういう事例はないが、地元で話が進められなかったら、教育委員会も進めない。いったんストップになると思う。同意した部分はその通りにならなかったら、その時点で市教委も進めるという判断は出来ないと思う。

Q. この場で「こうする」という意見を出した方がよいのか。

A. 最終的に地区で話し合って結論が出たら。

Q. いつまでたっても進まない。室津の意見として出せば進めてもらえるのか。個人的には豊洋中学校

でと思う。

A. どういう形であれ、計画が出来たら地元の方と話して、同意いただけるように説明していきたい。

Q. 室津幼稚園がなくなったときは、事後説明だった。今回も事後説明にならないように。

Q. 内日で実施された小規模特認校制度とはどんな制度か。

A. 通常は居住地の学校に通うが、内日小・中学校の場合は、通学区域を下関市内として、その学校ならではの特色のある教育、例えば小中一貫、自然を生かした教育活動、それに賛同する子どもが保護者の責任のもとに登下校させて、学校生活を送る。

Q. 内日地区の方からその制度を導入して、小中学校を存続させてくれという要望が出たのか。教育委員会の方からこういう制度がある、ということだったのか。室津ではそういう制度が導入できないのか。

A. 内日は適正規模をはかるための、制度利用ではない。地元からの意見も当然あったと思うが、地理的にも下関の真ん中にあり、通学も全市から通いやすいというところもあり、市の範囲でできる小規模特認校を導入してみてはどうかというところ。時間はかかったが、少しずつ子どもの数が増えている。自然にそうなった。

Q. この地区は通いやすいと思うし、山も海もあり、自然豊かで導入しやすい所ではないかと思う。地域の方にも説明して、制度を導入したり、地域を無くさないために、学校をどうやったら存続させられるかをみんなで考えたい。

A. 意見は承る。

最後にパブリックコメントについて説明